

臨床腫瘍多職種研修会開催報告

山口大学医学部附属病院
腫瘍センター事務局
原田幸恵

令和4年1月13日（木）に、山口大学医学部附属病院腫瘍センター主催で、臨床腫瘍多職種研修会が、山口大学医学部医修館第1講義室で開催されました。本研修は、院内のがん医療に携わる医師・看護師・薬剤師・管理栄養士等の医療従事者を対象とした臨床腫瘍に関する研修会で、多職種34名の参加がありました。

本院腫瘍センターの井岡准教授の司会のもと、「高齢がん患者の意思決定を支援するために」と題して、総合病院 聖隷三方原病院 緩和支援治療科部長 森 雅紀先生にご講演いただきました。

研修会では、高齢がん患者における意思決定支援について、概要から治療における意思決定支援、進行期における意思決定支援など、ACPのエビデンスと効果など最新の研究内容も混じえながらお話しがあり、参加者からは、「有名な先生から直接講義を受けられて大変良かった。臨床に応用できるようにACPの理解を深めていきたい。」「ACPに取り組む上での注意点など具体的に理解することができた。」「患者さんへのACPは病棟でよく行われているが、家族のコミュニケーションや患者の心の準備、医療者がどう話し合っていくかなど勉強不足なところが多かったため、この研修をきっかけに学んでいきたいと思った。」など多くの意見が寄せられました。

研修会後には、講師と参加者の間で活発な質疑応答もあり、大変有意義な研修会となりました。

腫瘍センターでは、これからも医療従事者に向けた様々な研修会を計画していきたいと思っておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

《研修会風景》

